

GIS

サービス

ツール

}

執筆担当者

堀口 幸徳

旅館には必ずと言っていいほどフロントにその地域の観光マップが置いてある。その観光マップを見ると何年前か前の情報が掲載されていたりすることがあるのではないか。それでは、お客様サービスを行ってないのと同じである。お客様はその土地の正確な情報、タイムリーの情報が欲しいのではないだろうか。紙の観光マップだと常にタイムリーの情報を掲載するのは難しい。そこでGISを利用し

どうかだろうか。観光マップに、文化財、観光地、イベント開催地を地図上にポイント表示し、ポイントをクリックすることでその箇所の詳細な説明

を表示したり、地図からだけでなく文字から位置検索をできるようにする。また、これだけだと紙地図とさほど変わりがないので従業員等が記者となりその土地の情報や写真を自由に書き込める観光マップにしてみたら面白いのではないかと思う。これらの情報が蓄積することにより世界でたった一つの観光マップが出来上がるのだ。よくホームページ上に観光マップがあるがメンテナンスが大変なので更新されて無いケースもある。しかし、GISを利用すると簡単に地図の更新が可能となる。観光ルートの検索として、距離・時間・料金に応じた最適ルートが地図と併せて提示されれば、ルート選定に役立つであろうし、さらに混雑状況が把握できたり、選定されたルートをドライブできるシミュレーションがあれば、一度通った気分

でドライブもできることだろう。旅館の送迎用のバスにGPSを付け、バスの現在位置をコンピュータ上で確認できたり、その位置情報を携帯電話に配信すればお客様のサービスにつながるのではないかと思う。その他に、防災マップとしても役立てることができる。旅館では必ず非常口の案内はする。しかし、大地震などの災害が起きたときどのようなルートで避難場所に行ったらいいのか教えてはくれない。GISを使えば旅館から避難場所のルートを検索できるので事前に把握して頂くようなサービスを提供したらよいのではないだろうか。このようにGISは従業員だけではなくお客様に利用して頂くことも可能である。GISによるお客様サービスの旅館と差別化ができるのではないだろうか。